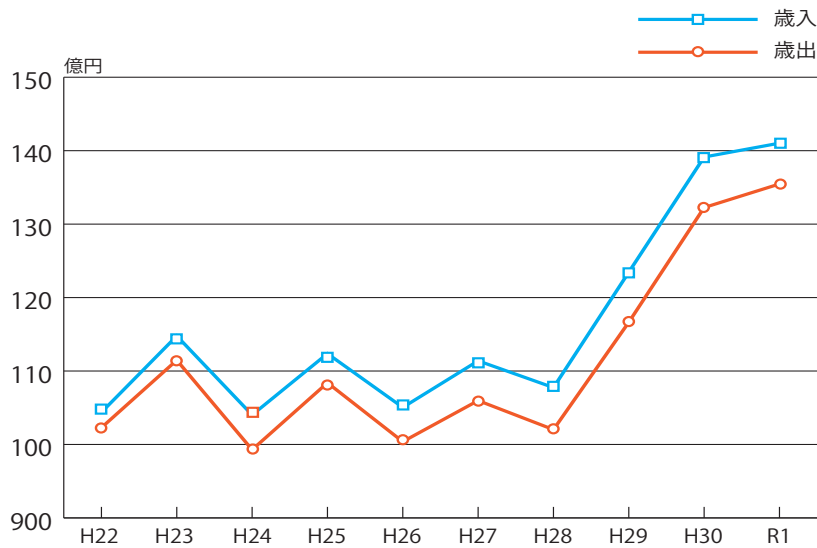




令和元年度 決算概要

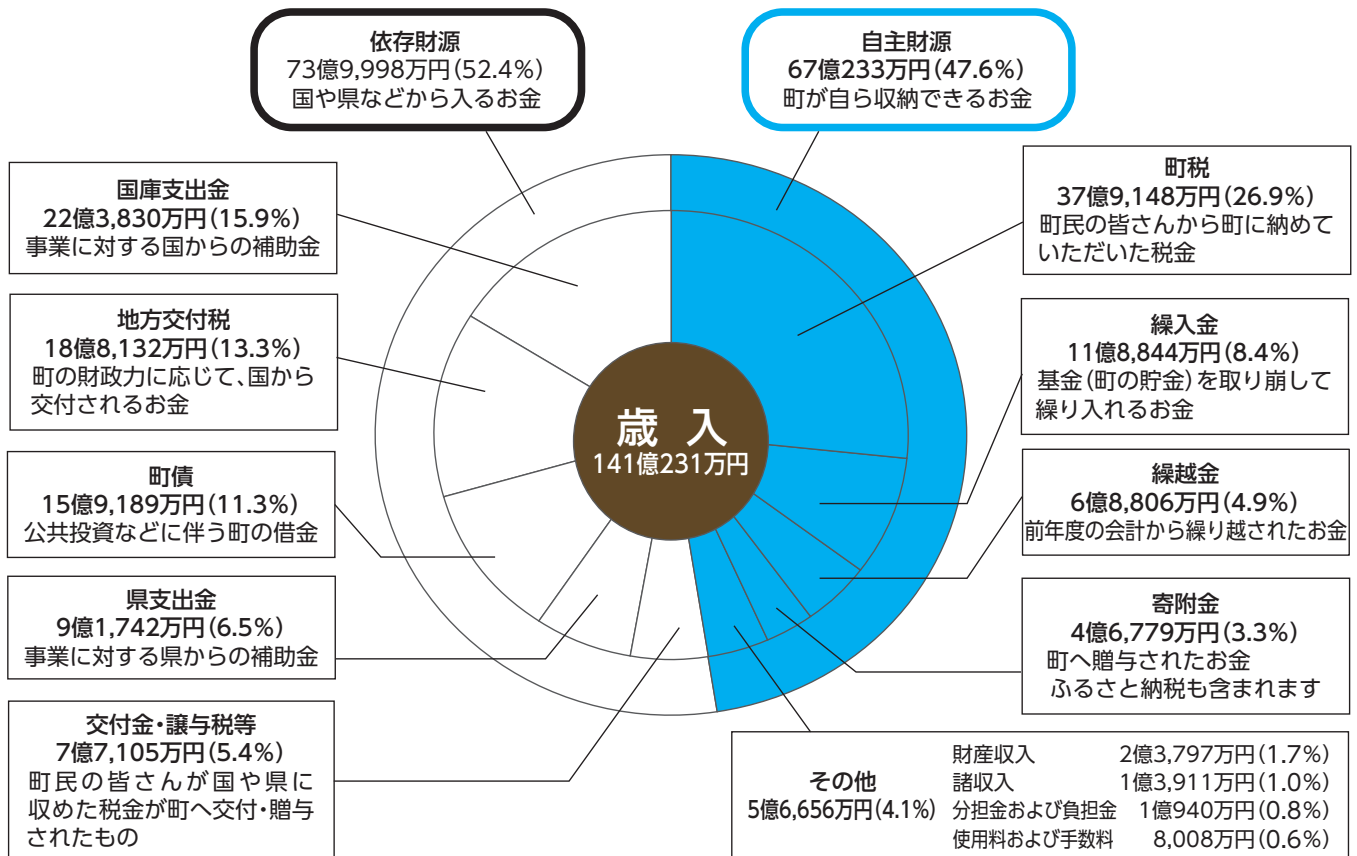
●過去 10 年の歳入、歳出の決算規模

令和元年度決算は、前年度と比較して歳入は 1 億 8,859 万円増加、歳出は 3 億 2,092 万円増加となりました。

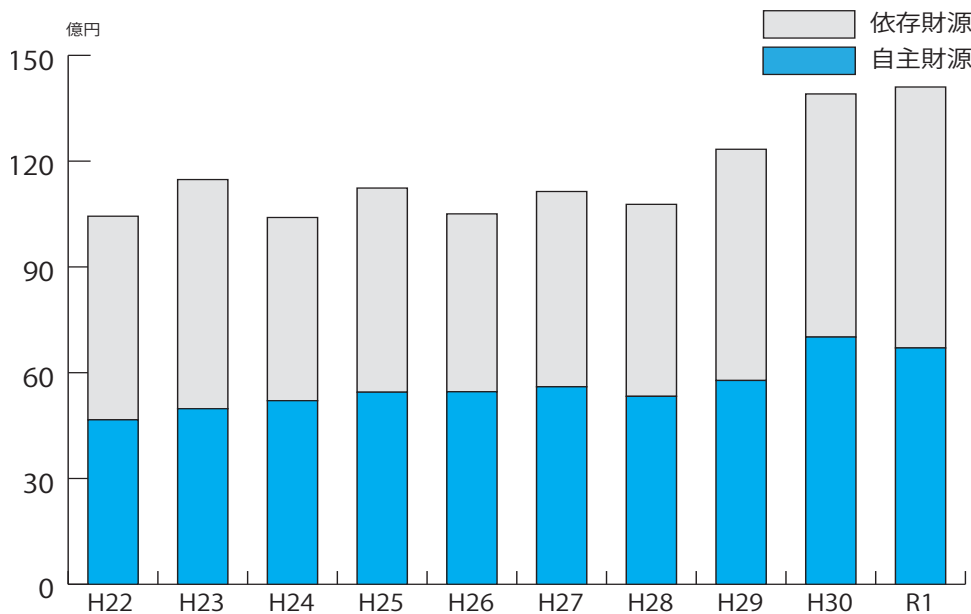


令和元年度の町の収入と支出の実績を表す決算が、町議会定例会 9 月会議で認定されました。一般会計では歳入が約 141 億円、歳出が約 135 億円となりました。ここでは決算の概要について紹介します。

歳 入



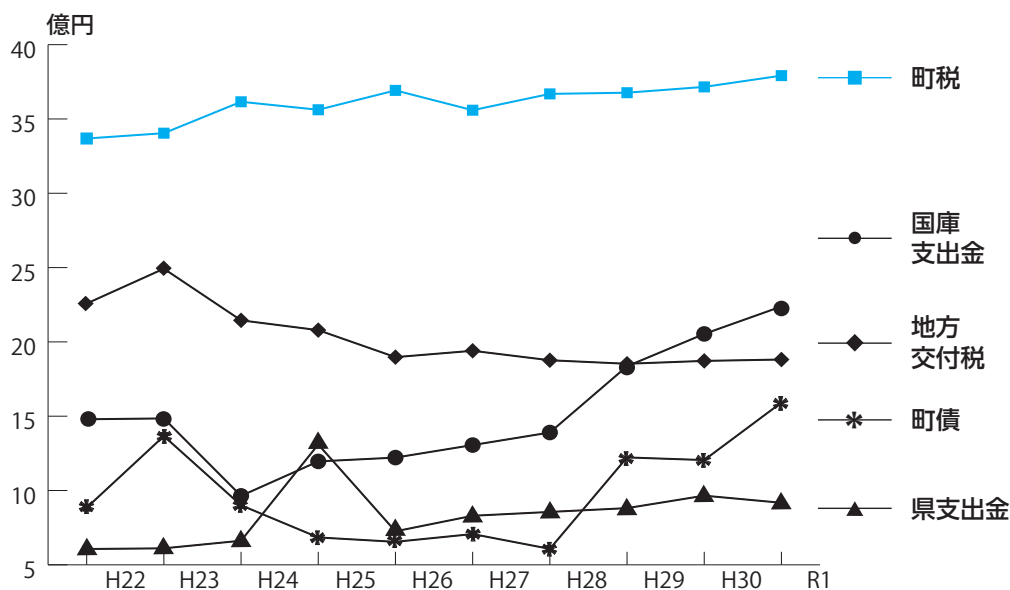
財源の推移



歳入に占める、自主財源と依存財源の割合です。自主財源の割合「自主財源比率」が高いほど、国や県などへの依存度が低く、財政が健全と判断できる一つの基準となります。

令和元年度は、自主財源比率は47.6%で前年度比2.8%減少。依存財源比率は52.4%で前年度比2.8%増加。両比率とも、ほぼ横ばいで推移しています。

主な歳入科目の決算額推移



町税は町民税、固定資産税等が増収となったことにより、前年度比約7,600万円増加し、高い数値を維持しています。町債は学校施設整備事業などへの財源に充てるため、前年度比約3億9,000万円増加しました。

国庫支出金は国補助の道路整備事業が継続していることなどにより、前年度比約1億8,000万円増加し、増加傾向が続いています。

町民一人当たりの歳入出額 (令和2年3月31日の人口27,227人で算出)

